

カリキュラムとGraduation Policy(GP)との相互依存関係一覧表

記入者名	
記入年月日	2009/3/31
学部・研究科名	山口大学 経済学部
学科・専攻等名	経営学科
コース等名	職業会計人コース

学部・研究科の教育目的(具体的に記述・箇条書き)			学科・専攻科等の教育目的(具体的に記述・箇条書き)							
1. 「発見し、はぐくみ、かたちにする」を体現する人材を育成する。 2. 自ら問いを見だし、見出した問いを自らの中にはぐくんで解決の方策を探求したり、あるいは自ら進むべき道を模索したりすることのできる人材を育成する。 3. 探求や模索の結果得られた知見や考えを生かす能力を養い、世界や社会に貢献し得る実践的経済人を育成する。			1. 企業行動に伴って生起する諸問題を理解し、解決に至る道筋を考える基礎的な力を身につけ、経営、情報、会計、流通などの分野で社会に貢献できる人材を育てる。 2. <職業会計人コースの教育目的>監査、税務、会計などの専門知識を有し、社会に貢献できる職業人としての会計専門家を養成する。							
学部・研究科等のカリキュラム			学科・研究科等のGraduation Policy(GP) (◎=GP達成のために、特に重要な事項、○=GP達成のために、重要な事項、△=GP達成のために、望ましい事項)							
授業科目名	授業科目の主題(箇条書き) (この授業科目における中心となる題目・問題・テーマ等を箇条書きに記入する。)	授業科目の到達目標(箇条書き) (この授業科目の学習後に到達すべき最低限の(行動)目標を学生が主語で行為動詞を使用して箇条書きに記入する。)	A. ミクロ経済学、マクロ経済学、政治経済学、簿記、あるいは経営学をはじめとする専門的知識を修得し、企業行動に伴って生起する諸問題を理解することができる能力を身につける。	B. 監査、税務、会計などの専門知識を修得している。	C. 職業会計人としての見識を身につけている。					
経営学総論	経営学の基礎理論の習得 前半:経営学の基礎理論 後半:経営組織論	基礎理論の習得(専門用語を使つての議論)			◎					
簿記1	1. 会計の基礎を学習する。 2. 複式簿記の基礎を勉強する。	1. 財務諸表の損益計算書と貸借対照表の関係の理解 2. 原価配分・期間配分の理解 3. 精算表を作成できるようにする。	○	○	◎					
簿記2	1. 株式会社会計の基礎を学習する。 2. 信用取引を学習する。 3. 有価証券等を学習する。	特殊商品売買・有価証券・手形・荷為替手形・繰延資産・税金・株式会社会計の基礎を理解する。	○	○	◎					
商業簿記特論	・企業会計原則・簿記一巡・一般販売・特殊商品販売・長期請負工事・棚卸資産・固定資産・減損会計・繰延資産・引当金・退職給付会計・社債・資本・合併会計・会社分割・金融資産・金融負債・為替換算会計・税効果会計・本支店会計・連結会計・キャッシュフロー会計の項目を学習していきます。	公認会計士や税理士といった国家資格取得の土台となる日商簿記1級を学習します。簿記経理に必要な会計知識だけではなく、財務諸表を読む力、基礎的な経営管理や分析力を身につける事を目標とします。		○	◎					
財務会計特論	この財務会計論は、商業簿記特論と一体で運営されます。上記、商業簿記特論を参照してください。	この財務会計論は、商業簿記特論と一体で運営されます。上記、商業簿記特論を参照してください。		○	◎					

工業簿記特論	<p>・原価、営業量、利益関係の分析・予算編成・事業部制・業務的意思決定・構造的意決定・戦略的原価計算・単純個別原価計算・部門別原価計算・実際総合原価計算・全部、直接原価計算・工程別総合原価計算・組別、等級別原価計算・標準原価計算の項目を学習していきます。</p>	<p>公認会計士や税理士といった国家資格取得の土台となる日商簿記1級を学習します。簿記経理に必要な会計知識だけでなく、財務諸表を読む力、基礎的な経営管理や分析力を身につける事を目標とします。</p>		○	◎						
原価計算特論	<p>この原価計算特論は、工業簿記特論と一体で運営されます。上記、工業簿記特論を参照してください。</p>	<p>この原価計算特論は、工業簿記特論と一体で運営されます。上記、工業簿記特論を参照してください。</p>		○	◎						
GP項目別到達度判定方法(具体的に記述・箇条書き)											
総合的GP到達度判定方法(具体的に記述・箇条書き)											